

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援事業所 にじいるCOMMON		公表日		2026年3月21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 運 営 ・ 体	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2	0			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0	職員の配置は共有カレンダーに書き込んでいる 配置が手薄にならないように事前に職員配置を調整する		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2	0	PDCAサイクルを意識して業務にあたっている朝の打ち合 わせで目標設定と打ち合わせを徹底する		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	現在は利用者がいないため、評価実施対象がいません。今 後、利用開始後に保護者評価を実施し、内容を業務改善に 活かしてまいります。		
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2	0	定期的な職員ミーティングにより内部意見の共有・改善提 案を行っています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	1	1	現段階では実施実績はありませんが、利用者発生後の支援 実施状況をもとに、外部評価を実施予定です。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	毎月研修の機会を確保している 研修を通じてより良い支援に繋げる		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
適切な 支 援 の 提 供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0	現在、支援対象の児童がいないため、アセスメントや計画作成は準備段階です。今後、対象児が決まり次第、適切にアセスメントを行い、ニーズや課題を踏まえて計画を作成していきます。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	現在は支援対象児がいないため、計画作成や職員間での検討は行っていません。今後、対象児が決まり次第、関係職員と情報を共有し、子どもの最善の利益を考慮した計画作成を行っていきます。	
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0	現在は支援対象児がおらず、訪問も実施していないため、連携は準備段階です。今後は、訪問先施設の担当者と連携し、意向を計画に反映していきます。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	現在は支援対象児がいないため、計画の共有や支援の実施は行っていません。今後、計画作成時には職員間で共有し、計画に沿った支援を行っていきます。	
	12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0	現在は支援対象児がいないため、アセスメントは実施していません。今後は、フォーマル・インフォーマルの両面から適応行動を把握していく予定です。	
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0	現在は支援対象児がいないため、計画は未作成です。今後はガイドラインを踏まえ、具体的な支援内容を盛り込んだ計画を作成していきます。	
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	現在は支援対象児がいないため、計画の共有や支援の実施は行っていません。今後、対象児が決まり次第、計画を職員間で共有し、内容に沿った支援を行っていきます。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0	実支援は未実施ですが、模擬ケースを用いて支援開始前の打合せや役割分担の確認を行い、職員間の連携体制を整えています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	実支援は未実施ですが、模擬ケースを活用して支援終了後を想定した打合せや振り返りを行い、職員間で気付いた点の共有を進めています。	
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0		
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0	書いた職員以外も支援記録の確認をする	
19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0	モニタリングも複数の職員で行う		
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	引き続き子どもの状況に精通した者が参画する	
	21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	今後も継続して連携していく	
	22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0		
	23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0		
	24 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0		
	25 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	1	利用者がいないため未対応ですが、今後の運営において保護者との情報共有を重視し、発達状況や課題について共通理解が持てる体制を積極的に構築していきます。	
	26 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	利用者がいないため未対応ですが、今後の運営において家族支援の体制構築に取り組み、ペアレント・トレーニング等の情報提供や機会の確保に努めています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
保護者等への説明等	27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	1	利用者がいないため未対応ですが、今後の運営において運営規程や利用者負担等について丁寧に説明できる体制を整えていきます。	
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	1	1	利用者がいないため未対応ですが、今後の運営において訪問先施設に対し、事業の趣旨や支援の目的を適切に説明できる体制を構築していきます。	
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	1	利用者がいないため未対応ですが、今後の運営において、こどもや保護者の意思を尊重し、最善の利益を考慮した計画作成ができるよう、意向を確認する機会を設ける体制を構築していきます。	
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	1	1	利用者がいないため未対応ですが、今後の運営において「保育所等訪問支援計画」を用いて支援内容を丁寧に説明し、保護者から同意を得る体制を構築していきます。	
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	1	1	利用者がいないため未対応ですが、今後の運営において家族等からの相談に適切に対応し、必要な助言や支援を行える体制を構築していきます。	
	32 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	1		
	33 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	1		
	34 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	0	HUGやSNSにて事業紹介・情報提供を開始しています。利用者の関心喚起につなげています。	
	35 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	個人情報記載の文書は必ずシュレッダーにかけている 個人情報の扱いについて徹底していく	
	36 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0	相手が理解できるように配慮している 相手が情報を理解できるよう伝達方法を考える	
訪問先施設への説明等	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0		
	38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0		
	39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0		
	40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	開設準備段階から個人情報保護に関する体制を整備しており、書類処分方法も徹底しています。	
	41 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0		
非常時等の対応	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0	マニュアル策定はできている 周知の徹底ができていないので徹底していく	
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0	年に2回消防訓練をおこなっている。	
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0		
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0	定期的に虐待防止研修を受けている 研修を受け、研修内容を職員間で共有していく	
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	0	身体拘束適正化について研修を受けている 身体拘束適正化の3つの原則を保護者にも伝えていく	